

II 学校の概要

1 概要

本校は沖縄本島中部、東海岸に突出した与勝半島の南半分中央部のうるま市勝連内間に位置した、うるま市では中規模の小学校(平成 25 年 1 月現在 410 名)である。

創立は明治 15 年 4 月で、平成 26 年 5 月には創立 132 年目を迎える歴史ある学校である。平成 17 年には石川市、具志川市、与那城町、勝連町の 4 市町が合併しうるま市となり、それに伴い、学校の名称が「うるま市立勝連小学校」となった。

学校の近くを県道 8 号線が東西に走り、路線バスが往来する等、幹線道路があり、周辺には、うるま市教育委員会、シビックセンター、きむたかホール、勝連総合グラウンド、B & G センター、県立与勝高等学校、県立与勝緑が丘中学校、与勝中学校、与勝第二中学校等の公共施設が位置する等、教育・文化の中心地となっている。

校区は、学校を中心にして、北へ 平安名区、東へ内間区が位置し、両区とも古くからの歴史と伝統を持ち、今も継承され数多く残されている。地域は、平成 25 年 12 月 31 日現在、世帯数が内間区 433 戸、平安名区 1, 575 戸、人口は内間区 1, 128 人、平安名区 4, 315 人で若干ではあるが毎年世帯数は増えているが、人口は横ばい状況にある。(H25 年 1 月うるま市ホームページより)

両区民とも、 明朗・温和で「控えめであるが気配りのある」地域性として昔から知られており、地域には、世界遺産に登録された国指定史跡「勝連城跡」があり、昔は城下町として栄えた。琉球王朝時代「阿麻和利」の頃には、日本、中国や朝鮮との交流も盛んに行われていた。また、この地域は、世界遺産「勝連城跡」の他、県指定文化財も数多く伝承されており、隣区の平敷屋と並ぶ県内でもエイサーが盛んな地域で、その技能面も子ども達にしっかりと継承されている。

平成 24 年度には、沖縄県教育委員会「平和教育」の研究指定を受け(2 年間)、「思いやりの心を持つ児童の育成 ～合科的な活動を通した平和教育の展開を中心に～」のテーマ下研究を推進し、平成 25 年 11 月には実践報告会を実施した。

平成 26 年度には勝連幼稚園が移転・改築し、小学校に隣接する予定である。

